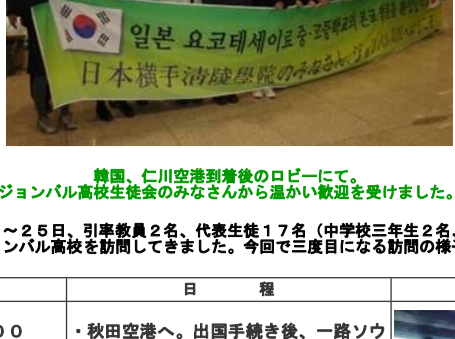




平成20年度 韓国ジョナル高校交流事業 活動報告



韓国、仁川空港到着後のロビーにて、ジョナル高校生徒会のみなさんから温かい歓迎を受けました。

平成20年12月22日～25日、引継職員2名、代表生徒17名（中学校3年生2名、高校1年生2名、高校2年生13名）で、韓国ジョナル高校を訪問してきました。今回で三度目になる訪問の様子を紹介します。

月日	時間	日 程	
12月22日(月)	午前 13:00 午後 15:45	・秋田空港へ。出国手続き後、一路ソウルへ向けて出発 ・仁川空港着。専用バスでジョナル高校へ ・ジョナル高校到着後、ホストファミリーとの対面式 ・各ホストファミリー宅へ	 仁川空港より、専用バスでジョナル高校へ移動。
23日(火)	午前 9:00 午後 17:30	・ジョナル高校集合 ・交流会（西校長あいさつ、学校紹介、韓国・日本の文化紹介） ・授業体験（英語、韓国語、日本語） ・家庭科の授業体験（韓国と日本の伝統衣装） ・昼食（ジョナル高校の給食） ・両校生徒会間で観光（江華島） ・ジョナル高校帰着後、各ホストファミリー宅へ	 日本語の授業体験。日本についてクイズ形式で学習。
24日(水)	8:30 終日	・ジョナル高校集合後、市内観光へ（ワールドカップ・サッカー競技場、景福宮、歴史博物館、南大門市場、ロッテワールド等） ・ホテル泊	 景福宮見学。
25日(木)	6:40 8:10 9:00	・ホテル発 ・レストランで朝食後、朝市へ ・仁川空港着。出国審査後、一路帰国の途へ。	

<韓国訪問を終えて(生徒の感想より)>

ジョナル高校への訪問を通じて感じたこと

高校1年女子

私は12月22日から25日まで韓国へ行き、ジョナル高校との交流事業に参加してきました。ジョナル高校へは初めて行くので、どんな学校なのか楽しみでした。韓国の仁川空港では、ジョナル高校の皆さんが温かく出迎えてくれました。ソウルは冬でも寒くて、風が冷たかったです。初日から、さっそく各家に分かれてホームステイをしました。私は同じ一年生の友達と二人でステイしました。相手はどんな人なのか、言葉はちゃんと通じるのか、期待と不安が入り混じった気持ちでした。けれど、ホームステイ先の生徒は日本語がとても上手で、安心しました。その時、私も韓国語で日常会話ができるようになりたいと思いました。その日の夜は、他の家の人たちと一緒にソウル市内をまわり、ウィンドウショッピングをしたり、プリクラをとったりしました。一緒に遊んだ人たちは、みんな日本語が上手で、会話には全く苦労しませんでした。ソウルはイルミネーションがとてもきれいでした。韓国の家の中にはストーブを使わなくても暖かく、その理由は伝統的な家の構造があるからだと後で知りました。二日目の午前中はジョナル高校で過ごしました。新聞部の広報誌をもらい、目を通してみると、清陵との交流事業のことも書いてありました。いつかその文章を理解できるようになりたいです。歓迎セレモニーでも、とても温かく迎えていただきました。伝統芸能のサムルリを聞き、その迫力に驚きました。授業体験では、ジョナル高校の日本語の授業に参加しました。クイズ形式だったので、スクリーンを使ったもので、とても楽しかったです。生徒たちはみんな元気で、私たちにも友好的に接してくれました。同時に、韓国に関する知識もいろいろと教えてくれました。その次の授業では韓国の民族衣装であるチマチゴリの説明などを聞き、実際に着せてもらいました。その日の夜は、パートナーのお母さんといっしょにテレビを見ました。話している内容は分からなかったけれど、お母さんが説明をしてくれて、映像だけでも楽しむことができました。三日目に、ジョナル高校の人たちと別れるときは、少し寂しく感じました。みんなで写真を撮りあったりして、別れを惜しかったです。今回の訪問では、自分から積極的に話すことができました。そして、いろいろな場面で、ジョナル高校の生徒たちの日本語能力の高さに驚かされました。私は、来年この交流事業に参加したいと思います。そして、そのときまで韓国語を少しでも多く理解できるようになりたいと思います。

<交流風景>



①1日目、仁川空港にて、ジョナル高校の教頭先生より歓迎のあいさつ。

②2日目、歓迎セレモニー。清陵学校教頭あいさつ。

③歓迎セレモニーで学校行事の紹介。修学旅行について高校2年生のグループ発表。

④セレモニー後の体験授業。韓国と日本の伝統的な衣装についてジョナル高校生が発表。

⑤2日目の午後の合同観光。ジョナル高校よりバスで1時間ほどの江華へ。

⑥3日目。ジョナル高校の皆さんとお別れ。

⑦ソウル市内観光。日韓会館で開催されたワールドカップサッカースタジアムへ。

⑧市内観光。景福宮にて。